

令和元年 第3回 根室市教育委員会 会議録

1. 公開案件の審議

- (1) 議案第 7号 根室市立学校職員服務規程の一部を改正する規程
結 論 原案どおり決定
- (2) 議案第 8号 根室市立学校沿革誌編さん要綱の一部を改正する要綱
結 論 原案どおり決定

2. 非公開案件の審議（会議録省略）

- (1) 議案第 9号 平成31年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について
結 論 原案どおり決定
- (2) 議案第10号 根室市教育支援委員会委員の解任及び委嘱又は任命について
結 論 原案どおり決定
- (3) 議案第11号 教育上特別な支援を必要とする児童の教育措置に係る諮問について
結 論 原案どおり決定

3. 意見交換

○目的

教育行政の課題についての情報共有、さらには頂いた意見を今後の事務を進める上での参考とするために行うもの

○テーマ

- ・子どもの読書の普及について

【 教育部長 】

今回の意見交換テーマは、「子どもの読書の普及について」とする。図書館では、本年度「第2期子ども読書活動推進計画」を策定し、5月に「3・4歳児保護者」「小学3・5年生と保護者」「中学・高校2年生」を対象としたアンケートを実施し、その結果、「あなたは『読書』が大切だと思いますか？」の問いに、「思う」「少し思う」と答えたのは、保護者が100%、小学3・5年生は92.2%、中学・高校2年生は84.9%であった。「思わない」と回答した理由として、「本を読むのが面倒（小学3・5年生）」「テレビやビデオ、DVD、ネット動画やスマホで読んだり調べることができる（中・高2年生）」となっており、子どもたちが「思わない」と答えた割合が平成24年に実施したときと比べていずれも増加している結果となった。急速なSNSの普及は、当市の子どもたちと本とのかわりに大きな影響を及ぼしており、読書離れが進んでいると捉えることができ、今後益々加速するネット社会において、いかにして子どもたちの読書活動を普及・推進するかが、現在策定中の計画における重要課題となっており、委員の皆様の意見を聞かせていただき、今後の参考にさせていただきたい。

【 教育長 】

事業報告で図書館から報告したように、6月28日に子ども読書活動推進計画市民会議を開き、その場でこのアンケート結果を持参したが、その中で委員の皆さんから出ていた意見は、このネット社会での図書活動の在り方というのはどうすればいいのだろうかというのが大半を占めていた。現在の推進計画というのは7年前に作った計画であって、このネット社会で7年前に作ったものをそのまま踏襲するというわけにはいかないため、新しい子ども読書活動推進計画をこれから計画、策定作業の中でネット社会に沿ったものにするのが大事なところになってくるのではないかと考えている。会議の中では、スマホやネットを使う時間が長くなっている子どもが多くなっている現状をどうすればよいかというグループと、これだけネット社会なのだからスマホやネットを使って、本をPRするような新しいやり方をとるべきではないのかという2つの意見があった。

【 委 員 】

「あなたは『読書』が大切だと思いますか？」という設問に対して、「本を読むのが面倒」という回答があるのはおかしいと思う。面倒かどうかというのは読書が大切だということと関係なくて、大切だと思うけど本を読むのが面倒だからいやだという回答であればわかるのですが、大切だと思うかどうかという問いに対して、面倒だから大切ではないという理由はおかしいような気がする。本に書いてあることは古臭くて時代に遅れているから大切ではないなどの理由ならまだわかりますが、大切かどうかを問う設問の回答ではない気がする。

【 教育部長 】

「本を読むのが面倒」という回答は、「大切だと思わない理由を教えてください」という設問に対しての回答であり、ア なんの役にも立たない、イ 他にやりたいことがある、ウ 本を読むのが面倒、エ テレビやインターネットの動画の方が面白い、オ インターネットやスマートフォンで読んで調べることができる、カ その他、という回答の中から選んでもらう形のアンケートになっており、7年前と同じ項目になっている。

【 委 員 】

本を読むことは大切だと思っているが、いろんな理由があってやりたくないというのと、本に書いてあることが大切ではないと思っているから読まないというのがわかりにくい気がする。

【 教育長 】

確かに、ウの選択肢は他の選択肢と異色になっているが、そのウの選択肢が前回調査時より大きい数字になっている。

【 教育部長 】

この選択肢を選んだ伸び率が前回調査時から大きく伸びたという結果になっており、回答数の1番はネットやスマホというのが1番多かったが、その率は7年前と比べても変わっておらず、この本を読むのが面倒くさいと回答した子どもが増えたという結果となった。

【 委 員 】

本の定義が難しい。社会人で本が大切だと思う人でも、実用書以外の本は無意味と思っている人もいるし、ネットに出ている情報で本ではないが、しっかりした情報があったり、それを読んでいる子たちは読書しないからニュースに遅れたり知識の習得ができないのかっていうとそうでもないと思う。ここでいう本の定義がわからないが、今の子どもたちがネットやスマホを使っている理由が動画やSNSというレベルで使っているのならどうなのかなと思うが、それ以外の部分で使っているとすれば、必ずしも悪いわけではないのかなと思う。私は紙媒体の本が好きだが、タブレットで本を読む人もいて、それは好き好きにもよるので、その辺を精査していかないと、一概に今の子どもたちは本を読まないといってしまうのはかわいそうなのかなという気がする。

【 教育部長 】

読解力や読み取る力など正確な情報を得るノウハウなどは、学校でもインターネットを使って調べ学習をやっており、どこにアクセスするかによって、興味本位の情報もちろんあるため、その部分についても、きちんと自分の中で整理できるような使い方を教えるとなると複雑になってくると思うが、学力の低下というのが全て国語力のところに回帰しており、読む力というのが大切でいかに子どもたちに読み取る力っていうのを付けてもらえるかということが読書活動の大きなポイントだと考えている。

【 教育指導参事 】

会社で働いている人も面接などで、好きな本がありますかと聞かれたときに、何冊こたえることができるのか考えると、読書をしていないので言えないと思う。今は学校で朝読書という習慣をやってるが、朝読書以外で家で本を読むことはないと思う。ただ、最近は漫画やアニメを小説化したものが流行りで、それを読んでからアニメ、漫画に目を通すっていう子どももいて、朝読書で10~15分くらい読んで、1冊読んだらまた次の1冊を選んでくることで年間5冊くらいは読んでるのではないかなと感じており、こういったちょっとした習慣でもいいので、読書する習慣がついてくれればいいなと思う。実際問題、ネットで情報を集めて、その情報をもとにいろんな話をするとと思うが、ネットで一番恐ろしいのは不特定の人があるような考え方をもって投稿しているのであって、それが事実かどうかというのはわからない。それをまともに受け、信用し、それをもとに自分の考え方を示すというのは怖い面があると感じるし、その一方できちんとした考え方を持った人が一冊の

本で自分の考え方を主張して、それを読んで同調した人はその意見に従うし、賛同する。またはこれは一理ありますが、違う考え方もあるよなと思った人が別の人の本を探して、購入して読むということもある。そういう習慣を小さい時から子どもが経験すると、本の大切さというのがわかるのかなと思っている。幼児期の教育が文科省も大切だという方針を打ち出しているが、幼児期の時に子どもにとって一番勉強になるのがお父さんやお母さんが寝る前に読み聞かせをすることかなと。それが幼児期にとって一番の勉強になるもので、そして昔の童話のようなものを読んであげることによって、新しい発想が頭の中でイメージが出てきて、そして力をつけてくのかなと思っている。ファーストブック、セカンドブックという事業を教育委員会ではやっているが、もっと幼児期に、お子さんが小さいときから本を読み聞かせるというのも大切かなと思っている。実際のところ小学校から中学校3年生まで朝読書をずっと真面目にやってきたクラスの成績は高く、全国学テでもそれなりの成績、全道平均並みはとれている。

【 委 員 】

ネット社会だからこそ、SNSなどで話題の本や面白い本の紹介をしてもいいのかなと思う。読書がいいのはわかっている、親もいいのはわかっている、でも実際どれだけの効果があるのかがわからなかったが、参事の話聞いて、積み上げて習慣づいた子どもたちの学力は高いというのは売りになって、この部分を強くアピールしていったらいいのではないかと感じた。ネットがだめという否定はしないが、ネットも使いながらいろんな本の紹介をするやわらかさもあつつつ、実になる部分の話小さい時から、教師も、親も子どもたちにもわかってもらえるように宣伝活動してほしいと思う。

【 委 員 】

携帯を使う時間を減らして、中学生くらいでも親が子どもと約束して何時までというように時間を約束させて、その空いた時間を読書の時間に変えられたらいいなと思うが、うまくいかないのかなとも思う。暇があると携帯を使ってしまうので、何か時間が空かないとそこに読書とならないと思うので、何かをやめるとか時間を短くするとかしないと、そこに読書がはいらないのではないのかなと思う。

【 教育長 】

今はネットで小説から何から読める時代になっていて、そういうやり方をしてきた子どもたちは、小説なども全部ネットで読むのが普通になっている世代が育ってきているのかなという気もしており、この部分をどう考えようかなと思うところもある。

【 委 員 】

私は妹と姪っ子と一緒に住んでいるが、まず読書する時間がないというか、親子そろって携帯をみたり、テレビをみていたり、自分もよく考えたら、図書館で本を

借りるが、1冊も読み終えてないのにもう返さなきゃいけないということがよくある。読む時間がないというのはあるが、趣味はなんですかと聞かれたときに、読書や旅行、スポーツですってあるが、読書は趣味じゃないから読みませんっていう人ももちろんいると思う。しかし、教育委員会の立場から子どもの教育ということで考えると、読書は必要ですよというのは、ある程度の大人はわかっているとは思いますが、大人になっても趣味として読書は全然しないって人はいるだろうし、本を読んで何を得するの、何がどうなのって親もいると思うので、そこを説得するというのは大変だろうなとは思っている。20年くらい前の話になってしまうが、数学で有名な作家が、アメリカでもどこでも国語を勉強しなきゃダメだというようなことを言っていて、国語を勉強しないことにはいろいろな技術書や英語、数学、社会、理科など、どの分野でも、何の質問をして何の答えを出そうとしているのか、自分で把握できないと当然、答えは出てこないだろうと。国語をしっかり勉強させないと、いろんな社会でも数学でも問題が解けないという子がいっぱい出てくると。数学の先生だから数学をもっと勉強するべきと言うのかと思っていたが、国語をもっと勉強したほうが良いという話をしていました。

【 教育長 】

現実、今の中高生が試験の問題文を理解できないというのが、広く様々な調査で出てきている話であり、問題で何を聞かれているのかがわからないから答えることができないのは当たり前だという調査結果が出ている。

【 委 員 】

読書をしないから問題が解けないのか、学校の国語の授業に問題があるのか。読書をすることで、さらに良くなるかもしれないが、問題文を理解する力という最低限はあって、その先に読書があるのではないのかなとも思う。

【 委 員 】

子どもは国語が嫌いですよ。私の家では、文章を読ませて答えをさがすような問題よりも、算数で答え出す方が得意だという子どもばかりで、読解力を求める問題も嫌いだし、文章を書きなさい、作文を書きなさい、という問題は嫌いだった。

【 教育指導参事 】

大学入試の時に、理系に興味のある人は、理数系のテストの問題はすごく点数が高いが、国語や社会は最低で、国立大学を受ける高校生で、大学入試の時に理系が得意な人は国語と社会の点数をいかに高くとるかというのが唯一の課題である。逆に文系の方は、理数系の点数が取れないから最低限どうやって努力したら点数が取れるかって、そういう点もあるので、すべてが授業のことではなくて、読書で一番大切なのは、我慢する力をつけることだと考える。今の子どもたちは我慢することができないから、ある程度の文章を読んでいかないと内容が理解できない読書が苦手で、そのある程度の文章を読むまでに我慢できないから読書は嫌いだってなって

いる子どもがほとんどかなと。ただ、問題文も長い問題文があって、今はひねくれたテストで点数を取らせないための問題文を作っていたり、文科省でやっている学力テストの問題文も長く、1行2行の暗記程度で答えられる問題文だったら誰でもできるが、2～3行または4行くらいの長い問題文をできない子どもが増えている。文章を最後まで読んで内容を理解しようとする我慢できる子どもが少ないといえる。いい例は、社会科の問題も国語の問題も、問題文が長くあって、これを読んで次の問題に答えなさいという問いや、理科の実験の文章も長くて、その理科の実験の問題文を読むのに疲れて我慢できないから、何を言っているかわからなくて問題が解けないという子ども、これと読書はすごくつながっていると思う。今の子どもたちは全部映像で育っていて、漫画の世界が読書を変えたってことがひとつ言えるかなと思う。昔はテレビが普及していなくて、本が唯一楽しみの時間で、昔の大学生も本を読まなかったら大学の勉強ができないっていう時代だったが、今は大学の授業を受けなくても、ネットでいろいろ調べられるから、答えを生み出すことができる、論文がかけるという時代というところもあるかなと感じている。

【 委 員 】

自分のことを言えば、小学校から漫画ばかり読んでいて、本は読まなかった。漫画が好きで、月刊誌から週刊誌まで、周りの子たちも漫画ばかりだったが、いつの間にか本を読むようになっていた。今は面倒くさくて漫画を読まなくなって、本を読むようになって、小さいころ漫画ばかり読んでいても大人になっても漫画ばかりかといったらそうでもなくて、なにかのきっかけで人間は変わることがある。

【 教育指導参事 】

私も漫画ばかり読んできた人間で、教員になってからたくさん本を読むようになったため、そういういろんなことがあっていいかなと思うが、やはり読書は勉強の基礎なのかなと感じている。なんでも勉強は読むところから始まるのかなと。

【 教育長 】

頂いた意見を参考として、今後どのような対応をするべきか検討していく。

14時15分 閉会